

2025年
7月号
横浜市
衛生研究所

感染症に 気をつけよう

今月の感染症流行状況



疾患名	流行状況	説明
伝染性紅斑 (リンゴ病)	流行中	患者数が多い状態で推移している
百日咳	増加が続く	全数調査開始(2018年)以降月間報告例で最多、全国では乳児の死亡例も
梅毒	流行中	感染し無症状の場合あり、気づかずに性的接触を介し感染を広げることも
麻しん (はしか)	市内での報告あり！	海外での感染例のほか国内感染例も増加、市内での報告が続く

今月のトピック 麻しん（はしか）にご注意ください

01 感染力は非常に強い

空気感染します

- ・空気中のウイルスを吸い込むことで感染します
- ・感染者と同じ空間にいと感染の可能性があります

02 主な症状

感染すると、約10日後に

発熱、咳、鼻水

39℃以上の高熱

発疹

2～3日後

肺炎、中耳炎、脳炎などを合併することがあります

03 予防には2回のワクチン接種が有効です

定期予防接種の時期

- ① 1歳児
- ② 小学校入学前1年間の幼児

接種歴・罹患歴が不明

- ・母子健康手帳を確認し、医療機関に相談してください
- ・海外渡航の計画時は特に確認を



横浜メディカル
ダッシュボード

麻しん(はしか)を疑い受診する場合、事前連絡の上、公共交通機関の利用を避けて受診してください